

2021年9月27日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
(コード番号: 4582)
問合せ先 管理本部 IR 室 (TEL.03-5472-1125)

オンコノバ社、リゴセルチブ経口剤とニボルマブとの併用による 非小細胞肺癌を対象とした医師主導フェーズ1/2a試験結果を発表

シンバイオ製薬株式会社（本社：東京都、以下「シンバイオ」）は、抗がん剤リゴセルチブナトリウム（以下「リゴセルチブ」）のライセンサーであるOnconova Therapeutics, Inc.（本社：米国ペンシルベニア州、以下「オンコノバ社」）が、2021年9月22日（米国東部時間）に、リゴセルチブ経口剤とニボルマブとの併用による進行性KRAS変異・非小細胞肺癌(NSCLC)を対象とした医師主導フェーズ1/2a試験（以下「本試験」）におけるフェーズ1試験パートの中間結果を発表したことをお知らせいたします。

オンコノバ社によれば、第3回RAS分子標的薬開発サミットで、本試験の結果としてリゴセルチブ・ニボルマブ併用療法の抗腫瘍活性を示す肯定的なデータが発表され、リゴセルチブ経口剤により免疫チェックポイント阻害の有効性を高める可能性を示したとのことです。

オンコノバ社の発表内容の詳細につきましては、同社のホームページをご覧ください。
<https://investor.onconova.com/press-releases>

以上

【リゴセルチブについて】

リゴセルチブは、がん関連遺伝子産物であるRasの作用を阻害し、PI3Kなど複数のキナーゼ（リン酸化酵素）の作用を妨げることにより、がんの生存や増殖に必要な複数の細胞内シグナルの伝達を抑制し、がん細胞を死滅させる新たな作用機序を有する低分子の抗がん剤です。

シンバイオは、2011年7月にオンコノバ社との間でライセンス契約を締結し、リゴセルチブの日本及び韓国における独占的開発権及び販売権を取得しております。

【オンコノバ社会社概要】

米国ペンシルベニア州及びニュージャージー州に拠点を置く、バイオ医薬品に特化した製薬企業です。1998年の同社設立時より、がん治療並びに正常細胞の保護に注力し、自社の所有する125以上の新規化学療法薬候補からなる医薬品化学ライブラリーを基に、新規の分子・生物学的治療を目的とした低分子治療薬を発見、最適化してきました。同社は、リゴセルチブの全世界における開発・販売権を保有しております。同社の詳細についてはウェブサイト (<http://www.onconova.com/>) をご覧下さい。

【当社会社概要】

シンバイオ製薬株式会社は、米国アムジェン社元副社長で、旧アムジェン株式会社の実質的な創業者である吉田文紀が2005年3月に設立した医薬品企業です。経営理念は「共創・共生」（共に創り、共に生きる）で表され、患者さんを中心として医師、科学者、行政、資本提供者を「共創・共生」の経営理念で結び、満たされない医療ニーズに応じてゆくことにより、社会的責任及び経営責任を果たすことを事業目的としています。なお、2016年5月に米国完全子会社 SymBio Pharma USA, Inc.（本社：米国カリフォルニア州 メンローパーク、社長：吉田文紀）を設立しました。